熱中症・インフルエンザ警告計

品番：0-244

○ 特許出願中

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、ありがとうございました。
この製品を末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお使いくださいますよう、お願い申し上げます。なお、この説明書はお手元に保存され、必要に応じてご覧ください。

輸入発売元 株式会社 ドリテック
〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9
URL：http://www.dretec.co.jp
お客様相談センター 0120-875-019
（受付時間：月～金10：00～12：00, 13：00～16：00 祝祭日および当社指定休日を除く）

■保証規定

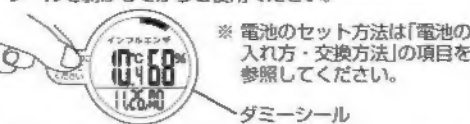
●次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
※ ご使用上に生じる外観の変化。
※ 本保証書に販売店、およびお買上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
※ 本保証書のご提示がない場合。
※ 一般家庭以外（例として、業務用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
● 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
● 電池は保証対象外です。
● お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。また法令の定めのある場合を除き、事前のご同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。
● お買い上げ後１年間の保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
● この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
● 本書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only in Japan.）
● 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

保 証 書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
対象部品：本体　　保証条件：持込修理
保証期間：お買い上げ日より１年以内
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

お買い上げ年月日
お買い上げ店
お名前
ご住所
お電話番号

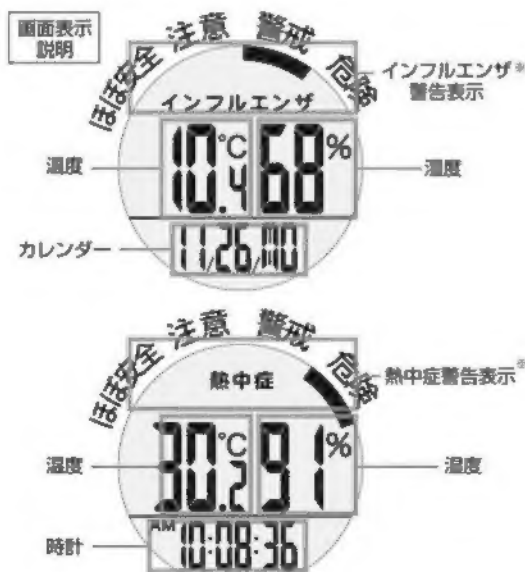
ご使用の前に付属の電池をセットし、液晶画面のダミーシールを剥がしてからご使用ください。

※ 電池のセット方法は「電池の入れ方・交換方法」の項目を参照してください。

■ 各部の名称

▲/▼ボタン
時計とカレンダーをセットする時に使います。

セットボタン
長押しすることで時計とカレンダーの設定ができます。時計とカレンダーをセットする時に使います。

モードボタン
1回押すごとに時計表示とカレンダー表示を切り替えます。

画面表示説明

※熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示のどちらも出ない場合があります。また、熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示は自動で切り替わります。

曜日表示

MO	TU	WE	TH	FR	SA	SU
月	火	水	木	金	土	日

■ お手入れ方法

・本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどい場合は中性洗剤をつけたふきんで拭き取ってください。
・お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。変色、変形、破損のおそれがあります。

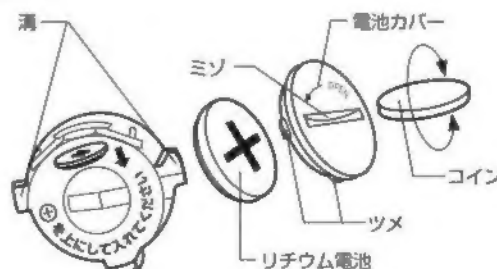
■ 電池について

・本製品は新しい正常な電池を組み込んだ場合、約１年間作動します。
・製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので、表示期間より電池寿命は短い場合があります。
・電池を廃棄する際はお住まいの自治体の指示に従ってください。
※電池交換後、カレンダー・時計を再度設定してください。

■ 電池の入れ方・交換方法

（使用電池：リチウム電池 CR2032 ×1個）

購入時は電池をセットする必要があります。また、電池容量が少なくなってきますと、表示が薄くなる事があり電池交換が必要となります。電池の入れ方・交換方法は以下の手順で行ってください。

1) 本体裏面の電池カバーをコインなどで「OPEN」の方向（反時計回り）に回しはずします。（図1参照）
※ミゾをつぶしてしまうと、電池カバーを開けることができなくなるおそれがありますのでご注意ください。
2) 古い電池を抜き取ります。このときマイナスドライバー等の先が尖ったものを使い、【図2】のようにして取り出してください。
3) 新しい電池（CR2032）の極性（+・−）を間違えないように入れます。（+を上にしてください。）
※電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
※電池セットが不完全だと正常に使用できない場合があります。
※電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。
4) 電池カバーのツメと本体の溝を合わせてから「OPEN」と反対の方向（時計回り）にコインなどで回し、しっかりと閉じてください。（図1参照）

※ 電池カバーの開閉の方向と電池の向きに注意してください。

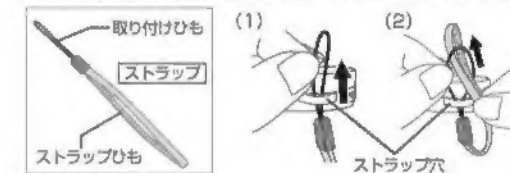
⚠ 電池についての警告

● ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。
また、火中に投じないでください。
● 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
● アルカリ電池の場合、万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合には、きれいな水で洗い流し、目に入った時には、きれいな水で洗い直ちに医師の治療を受けてください。
● 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠ 電池についてのご注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。
※電池の極性（+・−）を正しく入れてください。
※使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
※長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。

■ ストラップの取り付け方

1）ストラップの取り付けひもを製品本体のストラップ穴に通します。
2）ストラップのひもを取り付けひもに通し、ストラップを結びます。

装着したいところにストラップのひもを巻き付け（図3参照）、ストラップのひもに製品本体を通して結んでください。(図4参照)

※ストラップを持って振り回さないでください。小さなお子様がストラップで遊ばないようにご注意ください。
※ストラップは指などに巻きつけたりしないでください。血が通わなくなり危険です。
※取り付け部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。破損の原因になります。
※本製品以外でのご使用はおやめください。また、ストラップ装着時に発生した本製品以外への破損や故障については、責任を負いかねますので予めご了承ください。

本製品は医療用・業務用ではありません。
日常生活での温度・湿度の目安としてご使用ください。
氷点下時の屋外、直射日光の当たる場所では使用しないでください。本製品は防滴構造をしておりませんので、雨天時の屋外での使用は控えてください。また、商取引や、公に温度や湿度を証明する場合には使用しないでください。
温度・湿度の誤差や、熱中症・インフルエンザ指標などによる二次的な損害等に対し、弊社は一切の責任を負えないことをご了承ください。

■カレンダー・時刻のセット方法

※セット中に60秒間何も操作をしないと設定が自動でキャンセルされます。

1.「セット」ボタンを約3秒間長押しします。
「西暦」表示が点滅します。

2.「▲」「▼」ボタンを押して、現在の「西暦」を合わせてください。
※「▲」ボタンを１回押すと１年ずつ数字が増え、
「▼」ボタンを１回押すと１年ずつ数字が減ります。
押し続けると速く進みます。
※ 西暦は下2ケタで表示されます。例）2012年→12
2050年を超えると2012年に戻ります。
（2012~2050年まで設定できます。）

3. 続いて「セット」ボタンを押します。「月」表示が点滅します。

4.「▲」「▼」ボタンを押して、現在の「月」を合わせてください。
※「▲」ボタンを１回押すと１月ずつ数字が増え、
「▼」ボタンを１回押すと１月ずつ数字が減ります。
押し続けると速く進みます。

5. 続いて「セット」ボタンを押します。
「日」表示が点滅します。

6.「▲」「▼」ボタンを押して、「日」を合わせてください。
※「▲」ボタンを１回押すと１日ずつ数字が増え、
「▼」ボタンを１回押すと１日ずつ数字が減ります。
押し続けると速く進みます。
※「日」をセットすると曜日は自動的に設定されます。

7. 続いて「セット」ボタンを押します。
「時」表示が点滅します。

8.「▲」「▼」ボタンを押して、現在の「時」を合わせてください。12時間ごとに「AM（午前）」「PM（午後）」の表示も切り換わります。
※「▲」ボタンを１回押すと１時間ずつ数字が増え、
「▼」ボタンを１回押すと１時間ずつ数字が減ります。
押し続けると速く進みます。

9. 続いて「セット」ボタンを押します。
「分」表示が点滅します。

10.「▲」「▼」ボタンを押して、現在の「分」を合わせてください。
※「▲」ボタンを１回押すと１分ずつ数字が増え、
「▼」ボタンを１回押すと１分ずつ数字が減ります。
押し続けると速く進みます。

11.「セット」ボタンを押して時刻をセットし、初期設定は終了です。
※「セット」ボタンを押すと時刻が0秒からスタートします。

■ 熱中症警告表示について

本製品は日本生気象学会が発表している「日常生活における熱中症予防指針」におけるWBGT指数に基づき熱中症指標を表しています。
この指針では、WBGT（Wet-bulb globe temperature/湿球黒球温度）を「温度基準」とし、その温度レベルによって熱中症への危険度を4段階に分けています。

WBGT指数表

乾球温度（℃）	相対湿度（%） 20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	[illegible]
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35	[illegible]
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	[illegible]
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	[illegible]
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	[illegible]	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	[illegible]	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25
21	15	16	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

（単位：℃）

… 危険（31℃以上）　… 警戒（28~30℃）
… 注意（25~27℃）　… ほぼ安全（21~24℃）
… 安全（20℃以下）

WBGTとは？

酷暑の環境下での行動に伴うリスクの度合を判断するのに用いられる指標です。
環境省ではこれを暑さ指数と称しています。 人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射、気温の3つを考慮しており、湿球温度、黒球温度、乾球温度の値を使って計算します。スポーツや高温の職場などでの熱中症等を予防するために国際的に利用されており、ISO7243、JIS Z 8504などとして規格化されています。

本製品の熱中症警告表示方法について

温度と湿度の状態が下記の警告に該当すると表示されます。

警告	表示方法	症状・対策
ほぼ安全	ほぼ安全 注意 警戒 危険 熱中症	熱中症の危険は少ないですが、兆候に注意しましょう。スポーツなどの活動をしている方は、適度な水分補給をこころがけましょう。
注意	ほぼ安全 注意 警戒 危険 熱中症	熱中症の危険が増しています。スポーツなどの活動をしている方はこまめに休息をとり積極的に水分補給をしましょう。激しい運動では30分おきくらいに休息をとりましょう。
警戒	ほぼ安全 注意 警戒 危険 熱中症	熱中症の危険が高まっています。スポーツなどの活動をしている方は激しい運動を避けてください。体力の低い方、暑さに慣れていない方は運動を中止してください。積極的に休息と水分補給を行なってください。
危険	ほぼ安全 注意 警戒 危険 熱中症	熱中症の危険があります。特別の場合以外はすべての運動を中止してください。体温の上昇に注意し、十分な休息と水分補給を行なってください。

■ インフルエンザ警告表示について

本製品は絶対湿度※を算出することによりインフルエンザ警告を表示しています。
多くの場合、絶対湿度が11g/m³以下になると日本でのインフルエンザの流行が始まると言われています。

湿度とインフルエンザウイルスの関係

※体積1m³の空気中に含まれる水蒸気の量

絶対湿度※	インフルエンザウイルス生存率	湿度
11g/m³以下	空気中に散布した6時間後に5%生存	インフルエンザが流行する湿度
7g/m³以下	空気中に散布した6時間後に20%生存	インフルエンザの流行がより起こりやすい湿度

本製品のインフルエンザ警告表示方法について

温度と湿度の状態が下記の警告に該当すると表示されます。

警告	表示方法	症状・対策
注意	ほぼ安全 注意 警戒 危険 インフルエンザ	インフルエンザウイルスに感染する危険は少ないですが、注意が必要です。外出後には手洗い・うがいをしましょう。 また、体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。
警戒	ほぼ安全 注意 警戒 危険 インフルエンザ	インフルエンザウイルスに感染する危険があり、十分な注意が必要です。手洗い・うがいを徹底し、外出時はマスクの着用を心がけてください。 特に乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度（50~60%）を保ちましょう。

■製品についてのお願い事と注意

1）高温、多湿や磁気の多い場所に置かないでください。
2）加熱、分解、充電、改造、水中や火中でのご使用は避けてください。
3）落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
4）防水・防滴構造ではありません。雨天時に屋外での使用はしないでください。
氷点下や直射日光の当たる場所では使用しないでください。

■故障かなと思ったら

電源が入らない

○電池が入っているか確認してください。
○電池が消耗している可能性があります。電池を新しいものに交換してください。

「LL.L（LL）」「HH.H（HH）」の表示が出る
温度、湿度の表示数値がおかしい

○初めてご使用になる場合や本体を移動した場合、ポケットやバッグ等に入れていて出した直後の場合等、内部温湿度が安定するまでに時間がかかるため、同じ場所に30分ほど置いてから確認してください。
○通気口が塞がれている場合は、正確な温度・湿度が測定されません。

■ 製品仕様

表示温度範囲	−10.0~50.0℃ （−10.0℃より低い場合：LL.L、50.0℃より高い場合：HH.H）
表示湿度範囲	20~98% （20%より低い場合：LL、98%より高い場合：HH）
精度（温度）	0.0~40.0℃ ±1℃　その他前記範囲外では±2℃
精度（湿度）	50~80% ±5%　その他前記範囲外では±10%
測定間隔	約10秒
時計機能	時間表示（AM/PM 12時間表示）
カレンダー	月日表示・曜日表示
電源	DC3V リチウム電池CR2032×1個（動作確認用電池付）
電池寿命	約1年
材質	本体：ABS樹脂／AS樹脂、ストラップ：ナイロン